

| 授業科目名 | 小 児 看 護 I | | | 担当教員 | 大重 育美、松中 枝理子 |
|-------|---|-------|--|----------|--------------|
| 開講年次 | 2年後期 | セメスター | 4 | 時間数(単位数) | 30 (2) |
| 必修選択 | 必修 | 授業形態 | 講義 | 使用教室 | |
| 授業の目的 | 子どもの成長・発達を生涯発達の視点から理解し発達の評価を学ぶ。成長・発達する子どもとその家族を含めた社会的環境との関係を理解し、健康問題の解決への手がかりを学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの成長・発達に関する理論と特徴を説明できる 2. 子どものフィジカルアセスメントの特徴を述べるができる 3. 子どもの成長・発達の特徴を踏まえた援助を述べるができる 4. 子ども・家族の諸統計、家族看護理論を述べるができる 5. 子どもの健康に関わる法律・施策、小児看護の目標および役割を述べるができる | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 回 | 授業内容 | 授業方法 | 学修課題 (予習・復習) | 取組時間 | 担当者 |
| 1 | 小児期にある対象の理解と看護 | 講義 | P28 演習課題 1～7 (予習) | 2時間 | 大重 |
| 2 | 小児看護の特質 | 講義 | P53 演習課題 1～7 (予習) | 2時間 | 大重 |
| 3 | 子どもの最善の利益にかなう医療・看護 子どもの人権 | 講義 | P84 演習課題 1～7 (予習) | 2時間 | 大重 |
| 4 | 小児看護における概念と理念 | 講義 | P111 演習課題 1～8 学生に各発達理論に関するプレゼンを課す (予習) | 2時間 | 大重 |
| 5 | 小児を取り巻く医療の変遷と課題 | 講義 | P128 演習課題 1～4 (予習) | 2時間 | 大重 |
| 6 | 小児の成長・発達と看護 (発達の基本) | 講義 | P241 演習課題 1～7 (予習) | 2時間 | 大重 |
| 7 | 小児の成長・発達と看護 (発達評価法) | 講義 | 学生に各発達評価法に関するプレゼンを課す (予習) | 2時間 | 大重 |
| 8 | 小児の成長・発達と看護 (日常生活援助の視点) | 講義 | 事前に課題提示 (予習) | 2時間 | 大重 |
| 9 | 母子保健の動向、小児保健統計、母子保健対策からみる小児看護の視点 | 講義 | 事前に課題提示 (予習) | 2時間 | 大重 |
| 10 | 小児を守る法律と制度 | 講義 | P274 演習課題 1～6 (予習) | 2時間 | 大重 |
| 11 | 子どもの虐待に関する小児看護の役割 | 講義 | 子どもの虐待についての制度、行政・地域の取り組みについて事前学修 (予習) | 2時間 | ゲストスピーカー |
| 12 | 障害をもつ子どもと家族の看護 | 講義 | 事前に課題提示 (予習) | 2時間 | 松中 |
| 13 | 発達障害のある子どもと家族の看護 | 講義 | 事前に課題提示 (予習) | 2時間 | 松中 大重 |
| 14 | 子どもの事故防止と安全教育 (家庭内と施設内) | 講義 | 事前に課題提示 (予習) | 2時間 | 松中 大重 |
| 15 | 小児看護 I の総括・フィードバック | 講義 | 小児看護 I における学習内容の中で理解不十分だった部分についての整理を行う | 2時間 | 大重 松中 |

| | | | | | |
|---------------|---|-------|---------|-------|--------------|
| 先行履修科目 | | | | | |
| テキスト | 松尾宣武、濱中喜代：小児看護学概論 小児保健. メヂカルフレンド社, 平成 25 年第 5 版 | | | | |
| 参考文献 | 厚生労働統計協会：国民衛生の動向 2016/2017. 厚生労働協会, 2016. 二宮啓子、今野美紀：小児看護学概論 改訂第 3 版. 南江堂, 2017. 二宮啓子、今野美紀：小児看護技術改訂第 3 版. 南江堂, 2017. | | | | |
| 準備学修・授業外学修 | 出生から小児期までの幅広い対象の特性と看護を学ぶ科目です。各回で学ぶ内容を知識として定着するために事前課題を学修し、講義に臨んでください。講義毎に小テストまたは課題レポートを実施します。数名の学生には課題についてのプレゼンテーションを実施してもらいます。学内演習時には、小児看護に必要な基礎的技術を習得してもらいます。 | | | | |
| 科目の位置づけ | さまざまな場、ライフステージにある個人及び集団の中でも、リプロダクションサイクルにある人々の理解を深めるための科目である。小児看護学領域の基礎知識を学び、小児看護Ⅱの基盤となる科目として位置づけている。 | | | | |
| ディプロマポリシーとの関連 | 人間の尊厳と権利を擁護する力 | 自己教育力 | チームで働く力 | 問題解決力 | 看護の専門性を探究する力 |
| | ◎ | | | ○ | |
| 評価方法 | 定期試験 (80%)、小テスト・課題レポート等 (10%)、授業参加度 (10%) | | | | |